



ヒシサン 外観

北海道根室市に本社を置くヒシサンは、1931年(昭和6年)に創業。LPガス等の燃料と水産物の販売を二本柱に、リフォーム事業、ポーリング場やフィットネスクラブの運営等を展開している。また、最近ではお客さまに対し、インターネットを通じて会社の様々な情報を発信するとともに、インターネットでの機器や水産加工品の販売を今後の新たな柱とすることを目指している。

LPWA導入の様々な背景

日本最東端の駅「根室」。その駅前に株式会社ヒシサン・ガスオイルサポートはある。同社は1931年(昭和6年)に石炭販売を開始し、「石炭の積み卸しのために駅付近に店を構えた」と田中豊所長。

LPWAを導入した第一の理由は、点在する遠隔地の検針業務の業務負担を軽減させることだという。同社の郊外のサービスステーションはガソリンスタンドと兼業しており、スタッフは来店するお客さま対応を優先しつつ、ガス検針等の作業はその合間を縫って行かざるを得ないという状況だった。季節の変わり目ともなるとポンベの配送に加え、タイヤ交換のお客さまも相まって、現場スタッフは相当なストレスを感じていた。

また、根室の天候の代名詞と言えば「風」と「霧」であるが、特に「霧」の怖さは想像を絶するようである。

海から押し寄せる「霧」に囲まれたら昼間でも視界は殆ど無く、安全面を考えれば動くことは出来ない。ということは、商売にならないということ。

このような状況を憂慮した小泉誠路営業本部長は、LPWA導入について所長の田中さんとともに調査、企画し社長に上申した。社長も現場の状況を良く理解していることから、迅速な判断で導入が決定した。



LPWA導入の現場責任者 田中さん

障害を乗り越えて

補助金申請から仕様決定、メーカー選定、お客さまへの事前周知は順調に経過し、設置は天候に左右されやすい厚床(あつとこ)、中標津(なかしべつ)といった遠隔地と設置作業が容易な集合住宅を中心にする事とした。しかしながら、いざ機器設置となり思わぬ障害が待っていた。設置は4名体制で行う予定であったが、折からのコロナ禍でスタッフのひとりが長期離脱を余儀なくされてしまった。

ここでピンチを救ったのは、オールヒシサンのチームワーク。普段は担当外のスタッフのフォローのお蔭で計画より若干規模は縮小されたが、機器設置を成し遂げることが出来た。

ただ、反省点もある。誤配線や誤設定による通信不通現象が発生したこと。設置工事はもっと計画的に行い、機器設定の確認方法をしっかり学ぶべきであった。

一方で、メーカーサポートは充実していた。現地に来てもらわなければならない事象が発生しても札幌から根室まで遠路にもかかわらず、献身的にサポートしていただいた。担当者の方にはとても感謝しているという。

新時代に向けて

田中さんにLPWA導入の効果と今後の展開についてお尋ねした。効果としては、検針に費やされていた時間を営業活動に生かすことができ、同時に車両燃料費も削減することが出来た。

今後の展開については、根室市も人口流出が止まらず、遠隔地の顧客に対応する人材の確保は喫緊の課題である。そのためにもLPWAの機能を最大限活用していきたいという。今回は販売管理、料金請求で活用したが、将来的には配送にも活用していきたいと考えている。

同社は最近創業家より現在の社長が事業を継承したばかりとのこと。LPWA導入は、持続可能な事業継続と人材確保という課題を解決しようとする社長の果敢な判断の表われといえる。

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	ヒシサン		会社所在地	北海道根室市本町4-43		
	株式会社ヒシサン		事業責任者名	小泉 誠路	役職名	執行役員営業本部長
連絡先	部署名	ガスサポート	電話番号	0153 - 23 - 5188	従業員数	80 名
	担当者名	田中 豊	ホームページ	hishisan-g.co.jp		
会社設立	西暦	1952 年	8 月	1 日	顧客件数	2,266 件 内家庭用 2,235 件 業務用 31 件
事業内容	1. LPG、灯油 宅配供給事業 2. ガソリンスタンド事業 3. ホームセンター事業 4. コインランドリー事業					
会社の強み	1. 2. 3. 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安						
	<具体的活用方法> 天候や他業務への負担低減						
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> 僻地検針業務への従業員負担						
	<導入によって期待する効果> 検針業務にかかる労力を営業活動に生かす。						
導入費用	総金額	4,179,500 円		内補助金対象金額	4,179,500 円	補助金額	1,361,750 円
導入期間	補助金申請日	西暦	2022 年	6 月	9 日	所要期間	5 ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2023 年	2 月	1 日	合計	4 名 内社内 4 名 内社外 0 名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	ガス供給設備機器メーカーと同じため
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 通信不通事象が発生。設置担当者の長期離脱
	<上記問題点を改善した方法> 設置場所の変更 機器設定のやり直し 他担当者の応援要請
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	
導入によって削減できた費用	検針にともなう労務時間、車両燃料費
反省点	設置工事はもっと計画性をもってやるべきだった。 機器設定の確認方法をしっかり学ばべきだった。

今後の拡張方針	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他 ()
---------	---

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)	評価5または4の具体的な理由
		●申請作業	3	普通
●仕様確定	3	普通		
●メーカー選定	3	普通		
●事前周知	3	普通		
●設置工事	5	大変だった	設置担当者の長期離脱	
●試運転	5	大変だった	誤配線や誤設定による設定のやり直し	
●その他 ()				
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	検針業務の効率化で他業務に余裕ができた		
	業界・取引先などの社外から	特になし		
	お客さまから	特になし		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	十分な時間を準備に充てればよかった			